

3類型	鋳工業品の生産に係る技術	通巻番号	4-19-036
地域資源名	輪島塗	認定日	平成20年 2月20日
地域	石川県輪島市	所管省庁	経済産業省

事業名：輪島塗技術を活用した現代の居住空間に合う仏具（位牌・コアボトル等）の商品開発と販路開拓

会社名：藤八屋

所在地：石川県輪島市山本町脇田34-5

連絡先：TEL：0768-22-5577

H P：www.tohachiya.com

FAX：0768-22-1321

事業概要（新たな活用の視点）

- ・輪島塗は、600年以上に及ぶ歴史を有し、木製漆器の全国生産額の約25%を占める我が国屈指の漆器産地であるが、現在の売上高はピーク時の40%にまで減少している。
- ・同社においては、耐久性や耐光性が高く、傷が付きにくい技術を施した漆器など、高付加価値商品の開発に取り組んできた。
- ・平成19年に、120工程以上に及ぶ輪島塗の多種多様な技法を駆使し、新たな位牌を開発することに成功した。現代の居住空間に合い、持ち運び可能で、かつ明るいイメージの位牌は輪島塗では初めての商品である。

売れる商品づくり（競争力、市場性、販路）

◆競争力

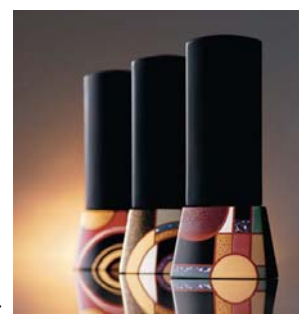
- ・本事業で取組む仏具は、沈金・蒔絵・彩本乾漆など多様な加飾を施し、いかなる形状でも製作が可能であり、また、輪島塗特有の「地の粉」を用いた布着せ本堅地技法によって強度・耐久性が優れているところに優位性がある。

◆市場性

- ・フローリングを中心とした現代の居住空間にマッチする都市型仏壇・仏具の売上については、近年増加してきている。仏具においても近年デザイン性が求められており、顧客ニーズに合致している。

◆販路

- ・大手都市型仏壇販売店などの専門店を中心に、全国展開を図ると共に、自社店頭及びカタログ・インターネット販売も行う。各種展示会において商品のPRを行い、顧客対応の充実を図っていく。



【位牌】

サイズ(4種類)

札 10.6cm～15.1cm
台座 6.3cm～8.1cm



【コアボトル】

サイズ 直径7.6cm



【厨子】

サイズ 直径13cm 高さ18cm

地域における関係事業者等との連携

- ・輪島塗は分業体制であり、同社は「下地・中塗・上塗」を担当、木地製作・加飾については、地域の事業者と連携して行っており、生産体制は構築されている。
- ・輪島漆器組合・輪島商工会議所を通して輪島塗をPRし、石川県工業試験場とは漆の性質や色彩の研究、石川県デザインセンターとは形状の検証に関して連携して行っている。